

DX 戦略の進捗状況について

コマツ産機では、自社を取り巻く外部環境や課題への戦略の一つとして、[DX 戦略 \(リンク\)](#) に基づき、以下の通り ICT の活用を積極的に推進してまいります。つきましては現時点での進捗状況を以下の通り報告いたします。

記

1. 大型プレス向け予知保全システムの展開

AI を活用して故障する前に部品の交換時期を判断する「予知保全システム」のサービスを 2020 年より開始しましたが、2021 年度末（2022 年 3 月）での「予知保全システム」導入ライン数は累計で 21 ラインとなりました。またこの取り組みは各種メディアでも取り上げていただきました。これからも更なるサービスの拡充を図ってまいります。

予知保全の紹介は[こちら \(リンク\)](#) をご覧ください。

メディアでの紹介記事は[こちら \(リンク\)](#) をご覧ください。

2. Komtrax（機械の遠隔稼働管理システム）における新サービス提供の開始

2022 年 4 月より従来の Komtrax において新たなサービス提供を開始しました。お客さまの様々な利益増のための行動をサポートするため、機械アラームメール配信機能や生産管理、累積利益管理及び、アフターサポートに関するコンテンツを新たに追加いたしました。

新サービスの詳細は[こちら \(リンク\)](#) をご確認ください。

3. DX 活用による社内業務改革

営業部門で導入済みであったクラウドサービスによる CRM をサービス部門にも展開を開始いたしました。これにより、業務の効率化・スピードアップにつなげ、更なるお客様満足度向上に努めてまいります。

今後も、コマツ産機における DX 戦略の進捗状況について定期的に情報を発信してまいります。

以上